

第七十五回 帝國議會
衆議院

昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件 委員會議錄(速記)第二十一回

昭和十五年三月二十二日(金曜日)午後一時
十八分開議

出席委員左ノ如シ
委員長 紫安新九郎君
理事宇賀 四郎君 理事池本甚四郎君
理事鶴 惣市君 理事小串 清一君
眞鍋 儀十君 池田 清秋君
駒井 重次君 川副 隆君
内藤 守正君 橫川 重次君
八角 三郎君 春名 成章君
木村作次郎君 小谷 節夫君 前川 正一君
河合 義一君 小野 謙一君 森 幸太郎君
三木 武夫君 笠井 重治君

出席

委員長 紫安新九郎君
理事宇賀 四郎君 理事池本甚四郎君
理事鶴 惣市君 理事小串 清一君
眞鍋 儀十君 池田 清秋君
駒井 重次君 川副 隆君
内藤 守正君 橫川 重次君
八角 三郎君 春名 成章君
木村作次郎君 小谷 節夫君 前川 正一君
河合 義一君 小野 謙一君 森 幸太郎君
三木 武夫君 笠井 重治君

同日委員長井源君辭任ニ付其ノ補闕トシテ
眞鍋儀十君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏省理財局長 相田 岩夫君
陸軍主計中將 石川半三郎君
海軍參與官 小山邦太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和九年法律第四十五號中改正法律案
(貿易調節及通商擁護ニ關スル件) (政府
提出、貴族院送付)
昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債追加發行ニ關スル法律案 (政府
提出)
支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付ス
ル爲公債發行ニ關スル法律案 (政府提出)
外國爲替管理法中改正法律案 (政府提出、
貴族院送付)

○紫安委員長 是ヨリ開會致シマス——小
谷君
○小谷委員 此ノ間興亞院長官、日高、經濟
部長ニ御話ヲ承リマシタ時分ニ、大體論ヲ
ヤツテ居リマス内ニ時間ガ過ギテシマヒマ
シタノデ、細カイコトヲ承ル機會ガナカツ
タモノデゴザイマスカラ、今日此ノ時間ヲ
拜借シマシテ、細カイ問題ニ付キマシテ、
少シバカリ御所見ヲ質シ、又御意見モ承ツ
テ見タイト思ヒマス、私ガ今更申上ゲルマ
デモナク、長官モ部長モ能ク御承知デゴザ
イマスガ、支那人ハ無爲ニシテ化スト云フ
言葉ガアツダリ、法三章ニシテ足レリト云
フ言葉ガ昔カラアルヤウニ、ドツチカト云
フト非常ニノンビリシタ大難把ナ國民デア

リマスガ、ソコヘ日本ガ參リマシテカラ、
日本ノ國內デサヘモマダ試験中デ其ノ結果
ガ分ラヌヤウナ統制式ノヤリ方ヲ頭カラ押
被セルト云フコトハ、支那人ニ取ツテハ隨分
嫌ナ氣持ガシテ居ルヤウデアリマス、ソレ
ニ支那人ハ御承知ノヤウナ工合ニ、非常ナ
射悻心ト云ヒマスカ、投機心ト云ヒマスカ、
サウ云フモノガ有ユル階級ニ泌込ンデ居ル
ノデ、マア饅頭一ツ食べルノニモ粥一杯啜
ルノニモヤハリサウ云フヤウナ氣分ヲ混ゼ
テ非常ニ和ヤカナ氣持デヤリ得ルヤウナ狀
態デアツタモノガ、ドウモ非常ニ窮屈ナヤ
ウニ感ジテ居ルト云フ傾向ガアルノデアリ
マス、此ノ間申シ上ゲマシタ棉花ノ價格ノ
統制ナドト云フコトモ非常ニ日本ノヤリ方
ニ對シテ良イ氣持ヲ持ツテ居ラス、實例ノ
一つアリマスガ、特ニ北支開發會社トカ、
中支那振興會社ノ子會社アタリニヤハリ日本
ト同ジヤウナ工合ニ一割二分ノ配當制限ヲ
スルト云フコトニナツテ參リマスト、是マ
スノデ、實際以上ニ支那人ノ方デ非常ニ怯
ヘテ居リマシテ、出テ來ナイト云フ點ガ非
常ニアルノデアリマス、ソレデ國策會社ガ
出來マシテ、其ノ事業ヲ行フニ當ツテ、日
支合辦デ仕事ヲシタイト云ツテ、支那人
デ開發振興ノ事業ヲヤルト云フコトニナリ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
昭和九年法律第四十五號中改正法律案
(貿易調節及通商擁護ニ關スル
支那事變ニ關スル一時賜金トシテ
交付スル爲公債發行ニ關スル法律
案(政府提出、貴族院送付)(第
五九號)
昭和十五年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル
法律案(政府提出、貴族院送付)(第
六〇號)
支那事變ニ關スル一時賜金トシテ
交付スル爲公債發行ニ關スル法律
案(政府提出、貴族院送付)(第九八號)
支那事變ニ關スル一時賜金トシテ
交付スル爲公債發行ニ關スル法律
案(政府提出、貴族院送付)(第一〇〇號)

他支那人ノ協力、兩方一緒ニナツテヤルト
云フコトガ主ニナツテ居ルノアリマス、ソレ
只今マデノ所、マダ中々怯エテ出テ來ナイ
ト云フ事情ガ一ツアルノアリマス、ソレ
カラ第二ニ只今仰シヤイマシタヤウナ點、
詰リ仕事ノ旨味、面白味ト云フモノニ對シ
テ、支那人ノ氣持ヲ段々向ケテ行クト云フ
コトモ必要デアリマス、同時ニ國策會社デ
アリマスノデ、其ノヤリ方ニ付テハ餘程合理
的ニヤツテ行ツテ、所謂支那式ノ放漫ナ所
バカリ殘ツテハ困ルノデス、兩方ノ點ガア
ルノデアリマシテ、差當リノ所ドレダケノ
配當ニ制限スルト云フヤウナコトハハツキ
リ今マデヤツテ居ル譯デモナインデアリマ
ス、又非常ニ高イ配當フルモノモ極ク少
イノデアリマスガ、只今仰シヤイマシタヤウ
ナ點ハ非常ニ重要ナ點デアリ、將來ノ兩國ノ
經濟提携ト云フコトニ付テモ十分考ヘナケ
レバナラヌ問題、グラウト思ツテ居ルノデア
リマス。

○堀内政府委員 只今主トシテ特殊會社及

子會社ニ對スル方針ヲ經濟部長カラ御話ニ
ナリマシタ、ソレ以外ノ個人商社、所謂外
務出先ノ監督指揮ヲ受ケル在留民ノ商社、
個人等ニ對シテ、所謂統制經濟ヲ如何ニ適
用スルカト云フコトニ付キマシテハ、ヤハ
リ今小谷委員ノ言ハレタヤウニ、支那ニ於
ケル總テノ統制經濟ト云フモノガ、日本ノ
ニ基イテヤツテ居リマス、例ヘバ公定價格
ト云フモノヲ日本式ニ各地ニ於テドンヽ
決メテ、之ヲ日本人ニ強制シテ見タ所デ、
ソレガ支那人ノ間ニハ實行サレナイ、隨テ

日本人ハ商賣出來ナイ、支那人ノミガ商賣
出來ル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、大
抵ハ適正價格ト云フモノヲ當業者ト相談ヲ
シテ大體決メマシテ、是デ一ツ十分ニヤツ
テ吳レト云フ風ニ實際的ノ指導ヲ主トシテ
居ルノデアリマス、但シ必要已ムヲ得ナイ
モノハ公定價格モヤルト云フコトモアリマ
ス、是ハ極ク僅カデアリマス、併シ一面ニ
於キマシテハ、例ヘバ日本人ノ主トシテ消費
スル米ノ如キ、是ハ日本ノヤウナ取締デハ、
日本人ガ消費スルト思ウテ澤山賣ツタモノ
ガ、何時ノ間にカ支那人ノ手ニ入ツテ、實
ハ支那ニハ三十何万シカ日本人ガ居ナイ、
是ガ一年一人一石消費スルトシテ、三十五
六万石シカ要ラナイト思フモノガ、取締ヲ
嚴重ニシナイト五十万石、百万石モ必要ニ
ナツテ來ルト云フ事態デアリマスカラ、米
ニ付キマシテモ、配給ニ付テハ各地ニ切符
制度ヲ執ツテ居リマス、是ハ特殊ノ事情ニ
基クノデアリマス、大體ニ於キマシテハ日
本ノヤウナ嚴格ナ統制經濟ヲ其ノ儘行ハウ
トハ思ツテ居ナインデアリマス。

○小谷委員 淘ニ結構ナ御答辯ヲ戴キマシ
タガ、サウ云フ工合ニヤツテ戴ケバ淘ニ工
合ガ好イト思ヒマス、所ガ私最近聞イタ話
デスガ、中支那振興會社ノ或ル子會社ガ一
割二分ノ配當制限ヲシロト云フ命令ヲ受ケ
テ、已ムヲ得ズ一割二分ノ配當ニシタ
云フ話ヲ聞イタノデアリマスガ、左様ナ事實
ト云フモノヲ日本式ニ各地ニ於テドンヽ
決メテ、之ヲ日本人ニ強制シテ見タ所デ、
ソレガ支那人ノ間ニハ實行サレナイ、隨テ

〔速記中止〕

○小谷委員 今ノ御話ハソレデ能ク分リマ
シタ、次ニ北支那開發會社ト中支那振興會
社が出來マス時分ニ此ノ衆議院デモ色々議
論ガアリマシテ、日露戰爭ノ時分ニ十万ノ
生靈ヲ犠牲トシ二十億ノ國帑ヲ費シ、其ノ
結果トシテ得タモノハ旅大ノ永租權ト滿鐵
ダケデアツタ、而モ其ノ滿鐵ハ遂ニ資本家
ノモノニナリ、國民的ニ何等ノ關心ヲ持タ
レスヤウナモノニナツタ、ジマツタ、デアル
カラ今度ノ北支那開發會社ト中支那振興會
社ヲ作ルニ付テハ出征兵士ト云フヤウナ者
ニモ關心ヲ持タセ、又國民的ニモ大イニ關
心ヲ持ツテ、其ノ會社ノ消長及ビ日本ト支
那トノ關係ニ對シテ國民ガ總テ關心ヲ持ツ
ニ付キマシテモ、配給ニ付テハ各地ニ切符
制度ヲ執ツテ居リマス、是ハ特殊ノ事情ニ
基クノデアリマス、大體ニシタラト云フヤウナ希望モア
ツタ譯デアリマスガ、結論トシテハヤハリ
サウ云フヤウナ方ノ株ガ非常ニ少イヤウデ
アリマス、數字的ニ餘リ細カイコトハ材料
ガナケレバ一寸無理カト思ヒマスガ、大體
ニドノ位ノ比率ニナツテ居リマスカ

○日高政府委員 只今ノ御質問ノ點ハ兩會

社ノ株ノ中、軍人及ビ其ノ遺家族ニ關スル
分ダト思フノデアリマスガ、實ハ最初出來
マス時ニハ應募シタ應募者ノ株數ハ所謂餘
程溢レタノデアリマス、其ノ中軍人遺家族
及ビ其ノ關係ノ分ニ付テハ優先的ニ之ヲ割
當テナノデアリマス、慥カ當初ハ北支那開
發會社ノ方デハ軍人援護會デ十万株、軍人
遺家族ノ分ガ九万五千七百株ト云フコト
デ、計十九万五千七百株ガ軍人遺家族關係
ノ分ニナツテ居リマス、ソレハ申込ダケ全
部割當テナノデアリマス、中支那振興會社
ノ方ハ軍人援護會ガ三万株、軍人遺家族ハ四
万四千百七十株、合計七万四千百七十株ガ
ノ經濟部、外務省關係ノアツチコツチノ領

事館ニ經濟調査部ト云フモノガアリマシテ、私共内部ノ事情ヲ知リマセヌカラドンナ工合ニナツテ居ルカ知リマセヌケレドモ、ドウモ屋上屋ヲ重ネテ居ルヤウナ氣持ガナイデモナイト思フノデアリマス、ト申シマスノハ、卑近ナ例ヲ引クト、青島邊リヘ参ソテアツチコツチノ會社ノ連中ノ話ヲ聽キマスト、ドウモ近頃ハアツチコツチノオ役所カラ色々々ナ調査書類ヲ送ツテ來ラレテ五月蠅クテ困ル、向フハ商賣ニシテ居ラレ足ラヌデ困ツテ居ル所ヘ、同ジヤウナ調査ヲ何十度モヤラサレルヤウナコトガアツテ困ルト云フヤウナ愚痴ヲ零シテ居ルノヲ相當聽クノデアリマスガ、是ハ何トカ統制ヲ取ラスト、餘り屋上屋ヲ重ネテ費用ヲ澤山使ツタ上ニ、ドツチカト云フト好イ結果デハナクテ、其ノ間ニ又転轍、摩擦ト云フヤウナモノヲ起ス虞ガアリマスガ、其ノ點ニ付テ今日マデニ御考慮ニナツテ居ルコトガゴザイマスカ、或ハ又御考慮ドコロデハナク、斯ウ云フヤウニシヨウト云フ御計畫ガアリマスカ、其ノ點ヲツ承リタイト思ヒマス

○日高政府委員 只今御指摘ニナリマシタ點ハ、實ハ屢々各方面カラサウ云フ風ナ話ヲ聞クノデアリマス、實ハ最近所謂統制ガ必要ニナリマシタノデ、日本ノ内部ニ於キマシテモ、結局ハ支那現地ニ於ケル仕事ハ日本ノ資金ト資材ニ關係ヲ持ツテ來ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテモ日本ノ仕組ガハツキリ決ツテ居ルノデアリマス、ソレニ何ト申シマスカ、最後ハ資金ト資材ノ所マデ行ツテ問題ニナルノデアリマス、デアリマスカラ現地ニ於キマシテサウ

云フ話ガ起リマシテカラ、最後ニ話ガ決リスマスマズノ間ニ引ツ掛リノナイヤウニスルト云フモトガ、一番重要な點アラウト私シマスノハ、卑近ナ例ヲ引クト、青島邊リヘ参ソテアツチコツチノ會社ノ連中ノ話ヲ聽キマスト、ドウモ近頃ハアツチコツチノオ役所カラ色々々ナ調査書類ヲ送ツテ來ラレテ五月蠅クテ困ル、向フハ商賣ニシテ居ラレ足ラヌデ困ツテ居ル所ヘ、同ジヤウナ調査ヲ何十度モヤラサレルヤウナコトガアツテ困ルト云フヤウナ愚痴ヲ零シテ居ルノヲ相當聽クノデアリマスガ、是ハ何トカ統制ヲ取ラスト、餘り屋上屋ヲ重ネテ費用ヲ澤山使ツタ上ニ、ドツチカト云フト好イ結果デハナクテ、其ノ間ニ又転轍、摩擦ト云フヤウナモノヲ起ス虞ガアリマスガ、其ノ點ニ付テ今日マデニ御考慮ニナツテ居ルコトガゴザイマスカ、或ハ又御考慮ドコロデハナク、斯ウ云フヤウニシヨウト云フ御計畫ガアリマスカ、其ノ點ヲツ承リタイト思ヒマス

○日高政府委員 只今御指摘ニナリマシタ點ハ、實ハ屢々各方面カラサウ云フ風ナ話ヲ聞クノデアリマス、實ハ最近所謂統制ガ必要ニナリマシタノデ、日本ノ内部ニ於キマシテモ、結局ハ支那現地ニ於ケル仕事ハ日本ノ資金ト資材ニ關係ヲ持ツテ來ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテモ日本ノ仕組ガハツキリ決ツテ居ルノデアリマス、ソレニ何ト申シマスカ、最後ハ資金ト資材ノ所マデ行ツテ問題ニナルノデアリマスカラ現地ニ於キマシテサウ

云フ話ガ起リマシテカラ、最後ニ話ガ決リスマスマズノ間ニ引ツ掛リノナイヤウニスルト云フモトガ、一番重要な點アラウト私シマスノハ、卑近ナ例ヲ引クト、青島邊リヘ参ソテアツチコツチノ會社ノ連中ノ話ヲ聽キマスト、ドウモ近頃ハアツチコツチノオ役所カラ色々々ナ調査書類ヲ送ツテ來ラレテ五月蠅クテ困ル、向フハ商賣ニシテ居ラレ足ラヌデ困ツテ居ル所ヘ、同ジヤウナ調査ヲ何十度モヤラサレルヤウナコトガアツテ困ルト云フヤウナ愚痴ヲ零シテ居ルノヲ相當聽クノデアリマスガ、是ハ何トカ統制ヲ取ラスト、餘り屋上屋ヲ重ネテ費用ヲ澤山使ツタ上ニ、ドツチカト云フト好イ結果デハナクテ、其ノ間ニ又転轍、摩擦ト云フヤウナモノヲ起ス虞ガアリマスガ、其ノ點ニ付テ今日マデニ御考慮ニナツテ居ルコトガゴザイマスカ、或ハ又御考慮ドコロデハナク、斯ウ云フヤウニシヨウト云フ御計畫ガアリマスカ、其ノ點ヲツ承リタイト思ヒマス

○小谷委員 エライ青島々々ト言フヤウデコトデアリマスト、其處デ詰リ窓口ヲ張ツテ居リマシテモ、ソレガ決リマスルマデニハ食違ヒノナイヤウニ連絡ヲシテ行ク、サウ云フコトハ餘程ハツキリ打合ガ出来テ居リマス、ソレカラモウ一つハ現地限リテ事務簡捷ト云フコトニ致シタイト云フ風ニ點モ各方面ノ不平ノ一ツヂヤナイカト思フノデアリマス、デアリマシテ、ソレモ成タケヤウニ、或ル程度以上ノコトニナリマスト、ドウ致シマシテモ、日本内地ノ資金ト資材ノ統制ノ方ニ關係ガアルノデアリマシテ、殊ニ其ノ兩方段々難カシクナツテ、詰リ詰ツテ参リマスルト一種ノ資金計畫ソレカラ物動計畫ト云フモノガ關係シテ來ルノデアリマス、其ノ間ニ途中デ一箇所デ宜イト斯ウ云フ話デアツテモ、最後ニ長イ間掛ツテ結局駄目ダト云フコトガナイヤウニト云フコトデ、豫メ成タリシテ、又最近青島カラ參リマシタ手紙ヲ見マシテモ、結局ハ支那現地ニ於ケル仕事ハ日本ノ資金ト資材ニ關係ヲ持ツテ來ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテモ日本ノ仕組ガハツキリ決ツテ居ルノデアリマス、ソレニ何ト申シマスカ、最後ハ資金ト資材ノ所マデ行ツテ問題ニナルノデアリマスカラ現地ニ於キマシテサウ

云フ話ガ起リマシテカラ、最後ニ話ガ決リスマスマズノ間ニ引ツ掛リノナイヤウニスルト云フモトガ、一番重要な點アラウト私シマスノハ、卑近ナ例ヲ引クト、青島邊リヘ参ソテアツチコツチノ會社ノ連中ノ話ヲ聽キマスト、ドウモ近頃ハアツチコツチノオ役所カラ色々々ナ調査書類ヲ送ツテ來ラレテ五月蠅クテ困ル、向フハ商賣ニシテ居ラレ足ラヌデ困ツテ居ル所ヘ、同ジヤウナ調査ヲ何十度モヤラサレルヤウナコトガアツテ困ルト云フヤウナ愚痴ヲ零シテ居ルノヲ相當聽クノデアリマスガ、是ハ何トカ統制ヲ取ラスト、餘り屋上屋ヲ重ネテ費用ヲ澤山使ツタ上ニ、ドツチカト云フト好イ結果デハナクテ、其ノ間ニ又転轍、摩擦ト云フヤウナモノヲ起ス虞ガアリマスガ、其ノ點ニ付テ今日マデニ御考慮ニナツテ居ルコトガゴザイマスカ、或ハ又御考慮ドコロデハナク、斯ウ云フヤウニシヨウト云フ御計畫ガアリマスカ、其ノ點ヲツ承リタイト思ヒマス

○小谷委員 餘リ時間ガ長クナリマシテモト思ヒマスカラ、今度ハ一ツ興亞院、ソレノ武官府モ廢止セラレ、サウシテ興亞院出張所一本デ行ケルヤウナ工合ニ體制ニ變リ

マシテモ、結局ハ支那現地ニ於ケル仕事ハ日本ノ資金ト資材ニ關係ヲ持ツテ來ルノデアリマス、ソレニ何ト申シマスカ、最後ハ資金ト資材ノ所マデ行ツテ問題ニナルノデアリマスカラ現地ニ於キマシテサウ

云フ話ガ起リマシテカラ、今度ハ一ツ興亞院、ソレカラ外務省、ドチラノ方カラモ便宜御答

辯ヲ願ツタト思ヒマスガ、最近支那ノ方カラ居留民團ノ會議ヲシマシタ結果ヲ持

之ニ對シテ差支ノナイ範圍ニ於テ御答辯ヲ

戴イテ置イタラト思ヒマス、先ヅ第一ハ在外子弟學校教員俸給、年功加俸也ニ在勤手當等國庫補助ニ關スル件、願書ハ興亞院ニモ外務省ニモ行ツテ居ル筈デゴザイマスカラ、御覽願ツタコト思ヒマスノデ、此ノ點ニ對スル御答辯ヲ先ヅ承ツテ見タウゴザイマス

テ其ノ財源ヲ確定スルト云フ所マデハ行ツ
テ居リマセヌ、近ク之ヲ確定シマシテ遺憾
ナキヤウニシタイト考ヘテ居リマス
○小谷委員 其ノ次ニ在外子弟學校教職員
恩給年限加算ニ關スル件ト云フノガアリマ
スガ、是モ一つ御答辯ヲ願ヒマス

主張シテ居ツタ所デアリマスガ、之ニ對ス
ル御意向モ承リタイト思ヒマス

○堀内政府委員　此ノ中ノ第一點ノ初等及
ビ中等教員養成機關設置デゴザイマスガ、
是ハ現在ニ於キマシテハ支那及ビ満洲國ニ
於ケル教職員ノ需要ガ非常ニ急激デアリマ
シテ、是ガ爲ニ、文部省初メ各府縣ニ御願
シテ、有能ナ商材ヲ多數外地ニ向ケルヤウ

イマス

○堀内政府委員 是モ只今申上ガマシタヤ
アラニテ、別途、一般ニ支那ニハニニ

ノ土地ノ事情ヲ知ルト云フ上カラ言ヘバ非
雪ニ吉事也アマズガ、同詩ニ日本國内、

ニシテ貰ツテ居ルノデゴザイマスガ、中々
内地ニ於ニマノニモ其、禽ニ女鼠ノ不毛ノ

○境内政府委員 徒來支那ニ於キマシテノ
在留民ノ數モ餘リ多クナイ、隨テ子弟學校
ノ教員ノ數モ非常ニ少イ、是等ニ付テ此ノ
俸給トカ、年功加俸、或ハ在勤手當等ニ付
テハ完全ナル制度ト云フモノガ完備シテナ
カツタ、不完全ナ點モ非常ニ多々アツタノデ
アリマス、此ノ事變以來兒童ノ增加ト云フモ
ノガ、非常ニ一年々々ト殖エテ參リマシタ、
子弟學校ノ教員ノ數モ急速度ニ殖エマシタ
カラ、是等ノ俸給トカ、年功加俸及ビ在勤
手當等ハ、一面ニ於テハ支那ニ於ケル教育
者トシテノ生活體面ヲ保チ及ビ其ノ功勞ニ
報イル、斯ウ云フヤウナ三ツノ點カラ遺憾
ノナイヤウニ、同時ニ又各地ノ振合等ニ不
公平ガナイヤウニ完全ナル制度ヲ作リツツ
アルノデゴザイマシテ、殆ド是ハ完成シテ
居ルノデゴザイマス、是等ノ爲ニ要スル經
費ノ膨脹ト云フモノハ、後ニ問題ニナリマ
ス急激ニ殖エタ兒童ヲ收容スル爲ニ學校ヲ
作ルト云フ此ノ臨時費ノ非常ナル増加ト相
俟ツテ、支那ニ於ケル國民教育ノ經費ガ、
非常ニ殖エテモ來ル、是等ヲ如何ニ調辨ス
ルカ、一部分ハ各地ノ居留民團ノ在留民ガ
非常ニ殖エタ、殖エタニ應ジテ課金モドン
ドン整理シテ殖サナケレバナラヌ、又國庫
ノ補助モ之ニ應ジテ殖サナケレバナラヌト
云フヤウナ建前カラ見テ、慎重ニ考慮シテ
居ルノデゴザイマス、マダ斯ウ云フ風ニシ

学校ノ教職員ニ對シテ一般的ニ恩給ヲ加算
スルト云フ制度ハ實ハ、ナインデアリマス、
特ニ不健康地ニアル學校ノ教職員ニ對シテ
ハ、恩給ヲ加算スルノデゴザイマス、是ハ
御承知ノ通り支那ニアル外務ノ出先機關、
外務省員ノ恩給ニ付テモヤハリサウ云フコ
トデゴザイマシテ、普通ノ支那ニ在勤スル
外務省員ハ恩給加算ニナラナイ、唯不健康
地ト稱シマシテ、限ラレタル場所ニ在勤スル
者ノミガ加算サレテ居ル、併シ他方ニ於テ、
朝鮮、臺灣等ニ於テハ一樣ニ恩給加算ノ制
度ガアルノデアリマスノデ、是トノ振合ヒ
ヲ考ヘテ、適當ニ公平ニ決メナケレバナラ
スト云フ風ニ考慮シテ居ルノデゴザイマス
ガ、是ハ確カデアルカドウカ知リマセヌガ、
臺灣、朝鮮等ニ於テ、現在ノ恩給加算制度
ガ、餘リ適當デナイカラ、之ニ對シテ修正
ヲ加ヘルト云フヤウナ議モアルヤウニ承ツ
テ居リマシテ、是等ノ點トモ併セテ極メテ
公平ナル決定ヲシタイト考ヘテ居リマス
○小谷委員 第三ニハ學校職員人事交流ニ
關スル件ト云フノデアリマスガ、是ハ私共
モズツト以前カラ主張シテ居リマシテ、日
本ノ學校教職員ガ支那ニ參リマシテ、サウ
シテ支那ノ知識ヲ得テ日本ニ歸リ、日本ノ
國民ニ支那ノ教育ヲスルト云フノニ非常ニ
工合ガ宜イコトニナリハシナイカト思ツテ

常ニ結構テアリマスカ 同時ニ日本國内ノ
教育方針、ソレハ國內ノ事情、或ハ色々
ナ事情カラ日進月歩ノ状態デアル、ソレニ
動モスルト遅レテシマツテ、支那ニ於ケル
學校ト云フモノハ、日本ノ國民教育ニ比べ
テ如何ニモ後レテ居ルト云フヤウナ點モ多
多アリマシタカラ、今回ノ事變ヲ劃期トシ
テ、支那ニ於ケル學校ノ數ガ非常ニ殖エテ、
教職員ノ數モ非常ニ殖エタド云フコトヲ機
會ニシテ、其ノ交流ヲヤリタイト思ツテ居
リマス、是ハ單ニ内地ノ間ノ交流ノミナラ
ズ、支那各地ニ於テモ十分ソレヲ行ヒタ
イ、斯ウ云フヤウナ考ヲ以チマシテ、ソレ
ヲ實行スル一ツノ機關トシマシテ、從來
カツタ機關デゴザイマスガ、今回北京ノ大使
館及ビ上海ノ大使館ニ教務職員ト云フモノク
ヲ、恰モ日本デ言フ視學ノヤウナモノデス
ガ、ソレヲ設ケマシテ、之ニ附隨スル職員
ヲ配備シマシテ、又同時ニ是等ノ指導ノ下
ニ北支ノ教育會、中支、南支ノ教育會ト
云フヤウナモノヲ組織シマシテ、是等ヲ通
ジテ十分其ノ陳情ノヤウナ趣旨ノ目的ヲ達
スルヤウニ善處シタイト考ヘテ居リマス、
○小谷委員 其ノ次ニ大陸ニ於ケル初等及
中等教員養成機關設置ニ關スル件、ソレ
カラ實業専門學校及び更ニ上級學校設置ニ
關スル件、其ノニツニ對スル御答辯ヲ願ヒ

内地ニ於キマシテ其ハ爲ニ委員ハ不足テ
來シテ居リマシテ、此ノ調子デハ現地及ビ
モ、ソレ等ノ需要ニ應ズル爲ニ適宜臨時ノ
施設モスルト云フヤウナ計畫ガ進ンデ居ル
ト聞イテ居リマス、隨テ支那ニ於テ初等、
中等教員ノ養成機關ヲ設ケルト云フコト
ハ、其ノ趣旨ニ於テハ極メテ必然ダト思ヒ
マスガ、之ヲ如何ニ具體的ニ進ヌルカト云
フコトニ付キマシテハ、只今ノ所マダ具體
案ガアリマセヌ、併シ今申シタヤウナ事情
ヲ十分者慮ニ入レテ、支那大陸ニ於ケル初等
及ビ中等教員ノ適材ヲ配置スルコトニ遺憾
ナキヤウニシタイト考ヘテ居リマス、ソレ
カラ第一點ニ付キマシテハ、此ノ陳情ノ趣
旨ハ極メテ結構デゴザイマスガ、是ハ何サ
マ相當ノ臨時及ビ經常ノ經費ヲ要シマスカ
ラ、是等ノ經費ノ財源等ヲモ能ク研究シマ
シテ、ソレニ付テ目標ガ付ケバ實行ニ移リ
タイト考ヘテ居リマスガ、今ノ所ハソレ等
ノ點ニ付テ、考慮ヲシテ居ルト云フ程度デ
ゴザイマス

万餘ノモノガ三十五万近クニナツテ居ルノ豫想ガ五万二千人ト云フコトガ第一ノ要件デアリマス、兒童ノ數ハ昭和十二年七月ニ僅カ九千デアツタモノガ、十四年ノ終リニ三万八千人ニナツテ居リマス、十五年度ソコデ、在留民ノ發展ト云フモノハ、ドウシテモ其ノ在留民ガ、其處ニ根據ヲ持ツテ定住スルト云フコトガ第一ノ要件デアリマシテ、定住スルニハドウシテモ家族ヲ連レテ行カナケレバナラヌ、隨テサウ云フ點ニ鑑ミマシテ、在留民ガ殖エタ所ニ於キマンテ、少クトモ二十人以上ノ兒童ガアルト云フ場所ニハ必ズ其處ニ小學校ヲ設ケル、斯ウ云フヤウナ方針ヲ確立シマシテ、事變以來處シテ參ツテ居ルノデアリマス、其ノ結果、小學校ノ數ヲ申シマスルト、十二年度ニ三十七デアリマシタモノガ、十三年度ニハ六十三ニナリ、十四年度ニハ八十二ニナリ、十五年度ノ豫想ガ百十ノ學校ノ數ニナリマス、是等ノ急激ニ增加スル學校ノ施設ヲ整ヘル爲ニ要スル臨時費ト云フモノハ、非常ナ額デゴザイマシテ、今一寸臨時費ノ全體ノ額ニ付テハ持合セガアリマセヌガ、臨時及び經常費ノ全體ノ額ニ付テ申シマスルト、十二年度ニ於テハ小學校ガ二百万圓デアリマシタモノガ、十三年度ニハ四百五十萬圓ニナリ、十四年度ニハ六百七十萬圓ト云フヤウナ狀態デ、此ノ中ノ大部分ハ臨時費デゴザイマス、是等ノ支辨ニ付キマンテハ非常ニ苦心ヲシテ居ルノデアリマシテ、先程申シマシタヤウニ、一面ニハ在留民ノ組織ト云フモノヲ、非常ニ各地トモ完全ニ併シナガラ是等ノ仕事ハ何様一ツノ土地ニ

付テ申シマスト、例ヘベ北京ノ如キハ、二年半
ノ中ニ五万人ニナツタ、斯ウ云フヤウナ急
激ナ增加ヲシテ居ルノデスカラ、是等ノ急
激ニ増加スル在留民ヲ々調査シテ、ソレノ
所得ヲ調べ、其ノ所得ヲ基礎ニシテ衡平ナ
ル課金ヲ遺漏ナク課ケルト云フコトハ、中々
ムヅカシイ事業デアリマシテ、尙ホ多少ノ
負擔漏レ等ガアリマシテ、民團ノ課金ト云
フモノハ在留民ノ増加ニ正比例シテ殖エ
ナイノデアリマス、ソレ等ノモノヲ補フ爲
ニ、成ベク國庫ノ補助ヲ増スト云フコトニ
ハ、十分ニ努メテ居ルノデゴザイマスガ、
何様非常時デアリマシテ、國家ノ豫算ト云
フモノモ、サウ思フヤウニ此ノ方面ニ於キ
マシテハ殖ヤスコトハ出來マセヌ、ソレ等
ノ足ラナイ所ハ各方面ノ寄付等ニ依リマシ
テ賄フト云フヤウナコトモ致シマシテヤツ
テ居リマス、國庫ノ補助ノ状態ヲ申シマス
ト、十二年度ニハ小學校ノ國庫補助ガ經常
費二十万圓デアリマシタモノガ十三年度ニ
ハ三十三万圓、十四年度ニハ六十万圓、十
五年度ニハ百万圓、此ノ外ニ臨時費ハ十二
年度ニハゴザイマセヌガ、十三年度ニハ
七十七万圓、ソレカラ十四年度ニハ四十
一万圓、十五年度ニハ四十九万圓、即
チ臨時費ト經常費ヲ合計致シマスト、
十二年度ニハ二十万圓デアツタモノガ、十
三年度ニハ百十五万圓、十四年度ニハ百二
十万圓、十五年度ニハ百五十万圓ト云フ狀
態ニ殖エテ居ルノデアリマス、此ノ殖エ方
ニ付キマシテハ、先程申シタ各民團ノ課金
詰リ稅收入及ビ民團ノ總經費、此ノ總經費
ノ中デ教育費ヲドノ位負擔シテ居ルカト云
フヤウナ割合等モ十分調査シテ、出來得ル

限リ國庫補助下民團負擔ト云フモノノ、均
衡ヲ得ルヤウニ努メナガラ増額シテ居ルノ
デアリマス、併シ今日ノ所ハ實ヲ申シマス
ト、増額ノ程度ハ内地ニ比べマシテ、割合
カラ申シマスト相當少イト云フ風ニ考ヘテ
居リマシテ、ドウシテモ是ハ國家トシマシテ
ハ、モウ少シ増額ヲシテヤラナケレバイケ
ナイト云フヤウナ風ニ考ヘテ居ルノデアリ
マス、是等ノ點ニ付キマシテハ、今後大藏
當局等トモ十分協議シテ、今申シタヤウナ
數字ニ基イテ、衡平ナル國庫補助額ヲ決メ
タイト考ヘテ居リマス

○日高政府委員　是ハ懇カ陳情ノ趣旨ハ、向フデ居留民團、又民會ガ公益上色々必要ナ施設ヲスル時ノ資金ヲ長期低利ニ借リル世話ヲ會社デヤルヤウニ考ヘテ貴ヒタイ、斯ウ云フコトデアツタト考ヘテ居リマス、是ハ御趣旨ハ能ク分ルノデアリマスガ、只今ノ所開發會社法ニ依リマシテ、法律ノ規定上一寸是ハ直グハ出來得ナイ所ガアリマシリ、建前上少シムヅカシイ點モアルノデアリマス、今ノ仕組デハ是ハ其ノ儘直グハ動カナインデアリマス、唯御趣旨ノ點ハ色々御尤モナ點モアルヤウデアリマスカラ、是ハ考究ニ價ヒスル點デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○小谷委員　其ノ次ニ現地產業ノ統制緩和ニ關スル件ト云フノガアリマスガ、是モ一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○日高政府委員　先程モ統制ノ點ニハ御觸レニナリマシテ、外務省ノ政府委員カラモ御答ガアツタノデアリマスガ、其ノ時ニ申上ゲマシタヤウナ氣持デ、不必要ナル、若クハ度ヲ過ギタル統制ハ之ヲ强行スルト云フ氣持ハナインデアリマス、唯只今申シマシタヤウニ、實情ニ即シテ、限ラレタ物ト金トヲ有效ニ使フト云フ意味ノ統制ヲ行ツテ居ルト云フ意味デアリマス

○小谷委員　支那法人タル日支合辦會社ニ對シ公課賦課ニ關スル件ト云フノガアリマスガ、是ハドウ云フコトニナツテ居リマセウカ、是モ一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○日高政府委員　此ノ陳情ノ趣旨ハ斯ウ云フコトノヤウニ諒解致シテ居ルノデアリマス、日支合辦會社デ支那ニアリマスノハ支那法人デアリマス、ソレニモ民團ノ課金ヲ課ケル、但シソレハ此ノ陳情ノ中ノ趣旨

ニモ、日本側ノ出資額ニ應ジテサウ云フ負擔ヲサセ得ルヤウナ途ヲ開イテ貰ヒタイ、平ト云フ點カラ申シマシテモ中々筋ノ通方法律的ノ點モアルノデアリマス、是ハ支那人デアリマスカラ、其ノ支那人ニ居留民團法ト云フ日本ノ法令ニ依ツテ課金ヲスルコトガ出來ルカドウカト云フ法律問題ニモ觸レル點ガアルト思フノデアリマス、ソレカラ又實際問題ト申シマスカ、日支經濟提携ト云フ方カラ申シマスト、日支合辦會社デ支那人デアリマスカラ、其ノ中ノ日本側ノ出資額ニ付テハ日本側ノ他ノモノノ振合ト同様ナ負擔ヲスルコトガ筋合アリマス、又同時ニ是ハ支那人會社デアリスカラ、支那側ニ對シテモ、或種ノサウ云フ氣持ヲ以テ、公共事業其ノ他ニ何カハスル、斯ウ云フヤウナ氣持ガ又考ヘ得ラレルノデアリマス、ソレデ特ニ是ガ興亞院ナドニ直接關係ノアリマス所謂國策會社ノ會社ノ部分ニナリマスト、兩國經濟提携ト云フヤウナ趣旨ガ皆ノ人ニ分ルト云フ、一種ノ善イ意味ノ「モデル」ト云フヤウナ氣持デ出來テ居ルノデアリマス、此ノ根本ノ越旨デアリマスガ、只今申シ日本側デ出資ヲシタ會社ガ、全然此ノ負擔ヲシナイト云フコトハ無理ダト云フ點ハ十分筋ガアルト思フノデアリマス、只今申シマシタヤウナ各般ノコト、特ニ法律上ノ點ナドモ十分考慮致シマシテ、衡平ナ形ノ或ル種ノ負擔ヲスルコトハ、筋ガ合ツテ居ルノデアラウト思フノデアリマス、又實際場所ニ依リマシテハ事實上サウ云フ形デ行ハ

レテ居ル所モアルヤウデアリマス
○小谷委員 支那事變損害賠償ニ關スル件
ト云フノヲ御答辯願ヒタイノデアリマスガ、是ハ近衛聲明デ以テ、國家的ノ損害賠償ハ取ラヌト云フコトヲ聲明シテゴザイマスケレドモ、個人的ノモノハ總て損害賠償ガ取レルヤウナコトニナツテ居ルト思ヒマスノデ、之ニ對スル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○堀内政府委員 支那事變ニ依リマスル被害賠償ノ爲ニハ、昭和十三年四月ニ勅令第二百九十六號ヲ以テ、支那事變被害調査委員會官制ヲ設ケタノデアリマス、外務大臣ヲ其ノ委員長トシ、其ノ下ニ委員ヲ配置シ、殊ニ外務省ト致シマシテハ、出先各總領事官、領事官ヲ督勵シマシテ、當時ノ被害ノ狀況ヲ詳シク調査シテ居リマス、昨年ノ十二月末マデニ被害ノ調査ヲ完了シタ部 分ノ件數ハ四千五百三十四件デアリマス、其ノ申告額ガ一億九百万圓餘リニナツテ居リマス、是等ノ既ニ完了シタ被害調査ヲ適當ニ此ノ委員會デ調査シテ、查定額ヲ決メル、サウシテ成ベク早ク被害ノ補償ガ出來リヤウニ今進メテ居ルノデゴザイマス、此ノ補償ヲスル場合ニ之ヲ支那側政府カラ取ルカ或ハ其ノ他ノ方法ニ依ルカニ付キマシリマスガ、此ノ根本ノ越旨デアリマスガ、

日本側デ出資ヲシタ會社ガ、全然此ノ負擔ヲシナケレバナラナイト思ヒマス、ソレヨリモ其ノ被害ノ實體ヲ早ク突止メルコトガ急務デアルト考ヘテ居リマセヌ、ソレノ完成ニ急イデ居ル次第デアリマス、ナドモ十分考慮致シマシテ、衡平ナ形ノ或ル種ノ負擔ヲスルコトハ、筋ガ合ツテ居ルノデアラウト思フノデアリマス、又實際場所ニ依リマシテハ、目下尙ホ考究中デゴザイマス、ドウスルト云フコトハマダ決ツテ居リマセヌ、ソレヨリモ其ノ被害ノ實體ヲ早ク突止メルコトガ急務デアルト考ヘテ居リマセヌ、

○小谷委員 復興資金デ大變御厄介ニナツテ居リマスシ、ソレカラ又色々な條件ナドニ對スル政府ノ御所見ヲ承リマシタガ、ドウカ支那在居民ノ期待ニ副ヒマスルヤウニ、

レテ居ル所モアルヤウデアリマス
○小谷委員 支那事變損害賠償ニ關スル件
ト云フノヲ御答辯願ヒタイノデアリマスガ、是ハ近衛聲明デ以テ、國家的ノ損害賠償ハ取ラヌト云フコトヲ聲明シテゴザイマスケレドモ、個人的ノモノハ總て損害賠償ガ取レルヤウナコトニナツテ居ルト思ヒマスノデ、之ニ對スル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○堀内政府委員 其ノ點ハ此處ニ概數ダケ書イテアリマスカラハツキリ致シマセヌガ後刻畫面デ御知ラセ致シマス、多分私ハ入ス

○小谷委員 青島ノ紡績工場ノ被害ハソレノミデ約一億八千万圓ダト言ツテ居ツタノデゴザイマスカラ、多分其ノ中ニ入ツテ居ラヌノデハナイカト思ヒマス、併シ數字ハドウデアリマシテモ、勿論紡績工場モ個人ノモノデスカラ、損害賠償ヲ得ラレルモノノ中ニ入ルト思ヒマス、是ハ何時カ豫算委員會力何カデ、新政權ガ出來テ其ノ新政權トノ相談ナクテハ、ドウ云フ形ニナルカ分ラヌト云フヤウナ御答辯ヲ承ツタヤウデアリマスガ、新政權モモウ直グ出來上ルヤウニナツテ居リマスカラ、政府トシテ是ハ物デ御取リニナルカ、金ト言ツテモ仕方ガアリマセヌデセウガ、利權ノヤウナモノデ御取リニナルカ、何カサウ云フ御心積リ、或ハ御心構ガアリマシタナラバ、御差支ノナイ限り漏シテ戴キタイト思ヒマス、

○堀内政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ只今申上げマシタ程度以上ニ、マダ申上ゲルコトハ出來ナイト考ヘテ居リマス、ソレニ付キマシテ其ノ被害ノ賠償ハ相當遅レマス爲ニ、御承知ノヤウニ一般復興資金及ビ企業復興資金ト云フモノヲ設ケマシテ、ソレ被被害者ガ成ベク早ク、復興シ得ルヤウナコトハ、目下尙ホ考究中デゴザイマス、ドウスルト云フコトハマダ決ツテ居リマセヌ、

○小谷委員 復興資金デ大變御厄介ニナツテ居リマスシ、ソレカラ又色々な條件ナドニ對スル政府ノ御所見ヲ承リマシタガ、ドウカ支那在居民ノ期待ニ副ヒマスルヤウニ、

ハ日本ノ邦字新聞ニツ、ソレカラ人口五十万ヲ販賣區域ニ有スル土地ニ於テハ漢字新聞二ツト云フノヲ原則ニシテ行クノガ工合ガ好イコトハナイカト思フノデアリマス、シテモ立派ナ新聞ヲ作ルコトニナリマス、シテモ立派ナ新聞ヲ作ルコトニナリマス、一方ガ無理ナコトヲシマスト一方ノ新聞ガ攻撃シマスカラ、餘り無理ナコトモ出來マセス、サウシテ今日ノ實情カラ見マスト五万人ノ範圍内ニ日本字新聞ニツ、五十万人ノ範圍内ニ於テ支那字新聞ニツト云フナラバ、立派ニ經營シテ行ケルト私ハ信ズルノデアリマス然ニ立派ニサウヤツテ經營シテ行クゴトガ出來又立派ナ新聞ガ出來ル筈デアル所ヲ無理矢理ニ統制シテツノモノニシテ、サウシテ下ヲスト言ツテハ失禮デズガ、澤山ナ金ヲ使ツテ見タリ、又殊更ニ支那ノ役所ノ方ヤ色々ナ所カラ、一方ノ新聞ダケニ金ヲ澤山出シテヤツテ、サウシテ一方ノ新聞ニ對シテハ壓迫ニナルヤウナコトヲスルト云フコトハ面白クナイノデアリマシテ、今申シマス原則ノヤウナ工合ニシテヤラス、日本人ノ作ル新聞デゴザイマスカラ、日本ノ國策ニ反スルヤウナコトハヤリハシマセヌ、又ソレニ兎ニ角現地ニ於テハ領事館、興亞院、憲兵隊、或ハ其處ニ居ル陸軍部隊ト云フ工合ニ、大抵四五箇所ノ檢閱ヲ受ケテ居リマス、一方ノ機關ガ發表シタ記事ヲ書イテ、一方ノ機關ガ削ツテ見タリ、隨分ヤカマシイ檢閱ヲ受ケテ居ルノデゴザイマスカラ、官憲ノ意思ニ反スルヤウナ記事ヲ書カウ皆モナイン、又日本ノ國民ガ經營シテ居ルカラニハ、日本ノ國策ニ違フヤウナコトモヤル皆モアリマセヌシ、ヤル場合ニモ取締ガ出來マスシ、ソレカラ之ヲ特

ニ利用シナケレバナラスト云フ場合ニハ、依怙最眞ナシニ相當ノモノヲ出シテ、サウシテ斯ウ云フ工合ニシロ、アア云フ工合ニシロト云ツテオヤラセニナルコトモ出來ルノデス、國家ガオ金ヲ出シテサウ云フ新聞ヲヤツテ居ラツシヤルナドトハ申シマセヌガ、併シ何處カラカ、サウ云フヤウナ金ガ出テ居ル新聞ガ相當アルヤウナ譯デゴザイマス、私ハ個人的ニ興亞院ノ長官ニ御話シテ、斯ウ云フ工合ニナスクタラ如何デアリカモ知レヌト云フ御話ヲ聞イタコトガアルノデアリマスガ、此ノ際ニツ總務長官ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、○柳川政府委員 支那ニ於ケル新聞ノ經營ニ付テハ、小谷サン御自身ノ御經驗デ、過ルノデアリマスガ、其ノ範圍ト云フモノリマシタ公債一億六千四百万圓ノ論功ニ付テアリマスガ、陸海軍々人、軍屬、文官ニシテ歸還者並ニ戰死、戰傷病死者ナドニスル分デアリマスガ、各政府委員カラノ御說明ニ依ツテ明瞭ニアリマス、今御述ニナリマシタ御所見モ至極御尤モト存ズル次第デアリマス、現地各機關ガ之ニ付テハ非常ニ關心ヲ持ツテ居リマスシ、實際重要な事柄デゴザイマスカラ、各機關能ク協議ヲシテ、今御述ニナツク御意見ヲ能ク參考ニシテ、適當ニ處理シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、只今マデノコトハ私モ餘り能ク詳細ハ存ジテ居リマスシ、左様デゴザイマス

○相田政府委員 此ノ豫算ヲ積算致シマスル便宜上、一應今年ノ三月三十一日ヲ以テ調査期間ハ打切ルコトニ致シテアリマス○眞鍋委員 今年ト云フト、今月ノ三十一日デスネ

○相田政府委員 左様デゴザイマス自身モ一、二感ジテ居ルヤウナ場合モゴザイマスノデ、將來御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト存ジテ居リマス

○紫安委員長 小谷君ニ御注意致シマスガ、自身モ一、二感ジテ居ルヤウナ場合モゴザイマスカラ、十十五年度分ニ必要ナ金額タト思ヒマシタモノデスカラ、十五年度ダト云フト、十六年三月三十一日マデニ一億六千万圓デ約五十七萬人位ニ論功ナサイマスノダト感達ヒヲシテ居リマシテ大變失禮致シマシタ、

ヲ以テ一應打切ル、斯ウ云フ意味デゴザイマス、此ノ一億六千四百二十萬圓ト云フ金額ハ十五年度分トシテ發令ニナル見込ノ金額、斯ウ云フ意味デゴザイマス、○眞鍋委員 サウスルト三月三十一日マデト御願ラシテ置イテ、大變長イ時間ヲ潰セシテ戴キマシテ恐縮シテ居ル次第デゴザイマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

○紫安委員長 真鍋君 極メテ簡單ニ一點ダケ御尋ヲ致シテ見タイト思ヒマス、茲ニ御要求ニナリマシタ公債一億六千四百万圓ノ論功ニ付テアリマスガ、此ノ際ニツ總務長官ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、○柳川政府委員 支那ニ於ケル新聞ノ經營ニ付テハ、小谷サン御自身ノ御經驗デ、過ルノデアリマスガ、其ノ範圍ト云フモノリマシタ公債一億六千四百万圓ノ論功ニ付テアリマスガ、陸海軍々人、軍屬、文官ニシテ歸還者並ニ戰死、戰傷病死者ナドニスル分ダラウト思ヒマス、此ノ論功ノ始期ハ十二年ノ七月七日カラト、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ一億六千万圓ノ含ム論功ノ終期ハ何時ニナリマスガ、ドナタカラデモ宜シウゴザイマスカラ、御示ヲ願ヒマス

○相田政府委員 此ノ豫算ヲ積算致シマスル便宜上、一應今年ノ三月三十一日ヲ以テ調査期間ハ打切ルコトニ致シテアリマス○眞鍋委員 今年ト云フト、今月ノ三十一日デスネ

○相田政府委員 左様デゴザイマス自身モ一、二感ジテ居ルヤウナ場合モゴザイマスノデ、將來御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト存ジテ居リマス

○眞鍋委員 私少シ頭ガ惡イノデハツキリ致シマセヌガ、後デ又個人的ニツ御伺シテ見マス、サウ致シマスト大體今日マデノ慣例ニ依ルト、衆議院ニ論功行賞トシテ行賞費ガ計上セラレマスト、吾々ノ通念トシテハ定期敍勳ガ停止ニナルト云フノガ常識デアリマスガ、此ノ豫算ガ計上サレテ參リマスト、定期敍勳ハ是デ一應御停止ニナル私ノ感達ヒニ間違ヒアリマセヌ

○相田政府委員 申上げマシタ越旨ハ、論功行賞ノ調査期間ハ十五年ノ三月三十一日

實ハ内閣ノ政府委員ガ居リマスレバ、或ル程度御答辯申上ガルコトガ出来ルカモ知レマセヌガ、ドウモ本來私共カラ御答辯申上ゲルノハ、適當デナインデハナイカト存ジテ居リマス、或ハ内閣ノ方カラ御説明ガアルカモ知レヌト思ヒマス

○真鍋委員 賞勲局關係ノ方ノ御出席ヲ要致シテ居リマスケレドモ、マダ御出席ナリマセヌノデ、キツト後テ御出席ニナルト思ヒマスガ、從來日清戰爭ニ致シマシテモ、日露戰爭ニ致シマシテモ、其ノ始期ト終期分明瞭デアツテ且ツ短期間デアリマシタ、滿洲事變ニ至リマシテ、是ガ多少曖昧模糊ノ形ヲ取ルヤウニナツテ來タノデス、然ルニ今回ノ支那事變が始リマシテ既ニ四年、斯ウ云フ長期ノ戰爭ガ繼續サレルヤウナコトニナリ、論功行賞モ亦長期ニ亘ツテ、功績ヲ調査シナケレバナラスト云フヤウニナツテ參リマスト、議會ニ提出セラレタルコトニ依ツテ、定期敍勳ガ停止トナリマスレバ、此ノ停止期間ガ三年ナリ四年ナリト云フ風ニ、是ハ續クカモ知レヌト云フコトモ想像シテ見ラレルノデアリマス、斯ウ云フ長期戰が現在展開シテ居ルト云フ目前ノ事實ニ照ラシテ、陸軍ナリ海軍ナリソレ自體ハ、從來ノヤウニ論功行賞が始マレバ、定期ハ差止メルト云フヤリ方デ、差支ヘハナササウニ御考ニナルカ、斯ウ云フ前代未聞ノ長期ノ戰争ニナツテ來ルト、別個ノ建前ヲ以テ臨機ニ考慮シナケレバナラヌモノト御考ニナリマスカ、其ノ點一ツ御氣持ヲ承リタイノデアリマス

度ノ問題デアリマスカラ、從來ノ如ク定期
叙勳ヲ停止スルコトニ依ツテ、叙勳ヲ受ケ
ル人ノ爲ニ甚ダシク不利ニナルト云フコト
ハ、遺憾ノ點ガアルノデアリマシテ、隨テ
其ノ不利ヲ尠カラシメルヤウニ、如何ニス
レバ之ヲ行ヒ得ルカト云フ方法ニ付テハ、
目下研究中デアルノデアリマス

議ノ上、研究ヲシテ戴キタイト思ヒマス、
私共ハ關係ノナイコトデアリマスケレドモ、
折角此ノ事變ニ勳功ヲ樹テラレテ、行賞ガ
アリマス際ニ、國家ノ氣持ガ其ノ人ニツツ
クリ傳ハラナイト云フヤウナコトニナリマ
スト、遺憾ダト思ヒマス、例ヘバ大佐ノ受
ケラレル勳章ノ最高ハ勳三等デアリマス、
ソコデ定期敍勳ガ差止ミニナラヌデ、ソレ
ガドン＼＼進メラレルコトニナルト、少將
ニナレバ二等ガ貰ヘル、叙勳ヲ停止シナイン
デ先ニ行ツテ、少將ニナツテ二等ヲ貰ツテ
居ツタ、所ガ論功行賞ハ何ヲ基本トシテ行
ハレルカト言ヘバ、大佐當時ニ樹テタ勳功
ニ依ツテ叙勳サレルノデアリマスカラ、叙
勳ハ三等以上ハ戴ケマセヌ、本人ハ少將ニ
ナツテ二等ヲ貰ツテ居ルノニ、折角受ケル
國家ノ勳章ハ、勳功ヲ樹テタ當時ノ一番最
上ノ三等シカ戴ケナイト云フコトニナリマ
スト、ソコニ何カ又一ツノ矛盾ガ生ジテ參
リマス、然ラバ差止メテシマフト云フコト
ニナリマスト、二年三年或ハ四年五年トナ
ツテ、勳功ハ樹テタケレドモ、叙勳ノ發表
サレルコトハ何年先ニナルカ分ラナイ、四
年經テバ當然次ノ定期敍勳ニ預ルモノガ、
此ノ論功行賞ノ爲ニ定期敍勳ガ一級級ダケ
差止メヲ食ヒ、或ハ一階級半ノ差止メヲ食
フト云フコトニナリマスト、是モ私ハ不都

合ナコトダト思ヒマス、私ハ素人トシテ斯
ウ考ヘルノデスガ、軍部デハサウ云フ御感
ジハ御持チニナツテ居リマセヌデスカ、私
共素人ノ考ガ間違ツテ居ラヌストレバ、軍
ノ方デハ海陸捕ツテ此ノ點ニ付テ、ドウス
レバ本當ノ國家ニ功勞ヲ樹テタ人ニ對スル
叙勳ノ趣意ガ通ルカ、ソレハ當然御研究ニ
ナツテ、既ニ是ガ發表ニナル時ニハ、其ノ
結論ガ出テ來テ居ラナケレバナラスト思ヒ
マスガ、私ノ素人考ハ間違ツテ居リマセヌ
カ、一ツ石川サンカラ陸軍ノ方ノ意向ヲ
伺ツテ見タイト思ヒマス

○小山政府委員 只今陸軍ヨリ御答申上ゲ
タト同様デアリマスガ、眞鍋君ノ御心配ニ
ナリマシタ點ヲ十分考慮ニ加ヘ、又方法ト
シテ御示シニナツタ點等モ考慮ニ入レマシ
テ、研究ヲスルト云フコトニ致シマス
○眞鍋委員 是ハ委員長ニ御願致シマスガ、
私ハ此ノ答辯ヲ承ツテ不服グト申上げル結
論シカ出テ來ナインデアリマス、既ニココ
デ公債ヲ御發行ニナツテ論功ハ始メルト云
フノニ、實際ドウ云フ風ニシテ其ノ論功ヲ
ナサル積リカマダハツキリ致シテ居ラヌヤ
ウニ存ジマスガ、恐ラク是ハ賞勵局側ノ方
ガ當面ノ責任者デアルカラ、自分達ハ其處マ
デ知ラヌデ置イテモ宜イト云フ御積リデア
ラウト思ヒマス、ソコデ委員長ニ於テモウ
期日ガゴザイマセスカラ賞勵局カラ書類ヲ
以テ答辯ヲシテ戴クヤウニ御取計ヒヲ願ヒ
タイト思ヒマス
○宇賀委員 私ハタツタ一ツ主計局長ニ御
伺フ致シタイト思フノデアリマスガ、ソレ
ハ昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債追加發行ニ關スル法律案、是ハ此
ノ間豫算ノ第二號トンシテ出シマシタ二億二
千何百万圓ノ豫算ノ收入ガ足リナイカラ一
億七千七百七十餘万圓赤字公債ヲ發行スル
ト云フ案デ、今日ノ日本ノ此ノ財政状態ニ
於テハ赤字公債ヨリ外致シ方ナイト云フノ
デ何人モ今マデ説明ヲ御要求スル者ハナカ
ツタノデアリマス、所ガ過日劃期的ノ稅制
改革案ガ衆議院デ訂正サレマシテ、其ノ結
果トシテ政府ノ目論ンデ居ル收入ニ對シテ
一箇年六千二百何十万圓ト云フ大キナ歲入
ノ缺陷ヲ生ズルコトニナツテ居リマス、目下

貴族院ノ方ニ歴ツテ一昨日デシタカ一昨
日デスカ、貴族院デ問題ニナツテ居ルヤウニ
聞イテ居リマスガ、新聞ヲ見マスト、大藏省
ノ見解トシテ色々御説明ナサツテ居リマス
ガ、私共此ノ赤字公債ヲ今日限リ此ノ儘認
メテシマフト云フ場合ニナリマスト、サウ云
フ風ニ兩院デ衆議院ノ修正ヲ政府ガ認メル
場合ニ於キマシテハ、確ニ歳入ニ六千何百万
圓ノ缺陷ヲ生ズルダラウト思フ、サウカト
云ツテ、更ニ今日茲ニ問題ニナツテ居ル公
債發行ニ關スル法律案ヲ訂正致シマシテ、一億
七千七百七十萬圓ニ六千二百何十万圓ヲ加
ヘルト云フコトモ出來マセヌシ、且又新シ
クスウ云フ法律案ヲ出スニシテモ、モウ會
期切迫ノ今日、サウ云フ期間モナイダラウ
ト思ハレマスガ、大藏省デ確定サレタル決
定事項ガアルナラ此ノ際主計局長カラドウ
云フ御見解ヲ持ツテ居ラレマスカ御説明ヲ
願ヒタイト思ヒマス

約ヲ致シ、剩餘金ヲ出來ルダケ出シテ、ソレ賄ヘルダケハ賄ヒタイト思ヒマス
併シゾレハ將來ノコトデアリマスカラ、ソレナラバ各部分ニ付テドレダケ出スカト
云フコトニ付テハ御答辯出來ナイ譯デアリマス、ソレナラ其ノ時ニハドウスルカト言
ヘバ、此ノ豫算ノ執行ハ明年三月末マデデアリマシテ、其ノ間ニハ議會ノ開會モアル
譯デアリマスカラ、其ノ時ニハ追加豫算等ヲ以テ御審議願フト云フヤウナコトデ善處
スルヨリ仕方ガナイト存ジテ居リマス、尙ホ是ハ話ガ別デハアリマスガ、今日マデニ於テ増稅案ガ議會ニ出マシタ時ニ、ソレ修正ニナツテ居リマスガ、ソレ等ノ處置ニ付キマシテハ今申上ゲタヤウニ政府ハ善處シテ、後デ追加ヲ出スト云フコトニツテ居リマスノデ、サウ云フ風ニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス
○宇賀委員 松田參與員カラ承リマシタコトハ大藏大臣ノ代辯デアルト承知シテ宜シウガザイマセウカ
○松田政府委員 私ハ大臣ニ代ツテ申上ダテ居ルノデアリマスカラ、大臣ノ答辯ヲ伺フト思ツテ戴イテ結構デゴザイマス
○紫安委員長 政府ニ申上ゲテ置キマス、先刻眞鍋君カラ騒動ノ件ニ付テ賞勲局總裁ニ對シテ書面ノ提出ヲ求メラレテ居リマス、是ハドウカ其ノヤウニ御取計ヒ願ヒタウゴザイマス——是ヨリ討論ニ入リマス、昭和九年法律第四十五號中改正法律案、昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案、支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案、外國爲慈管理法中改正法律案、此ノ四案ヲ一括シテ議題ニ供シマス——宇

○宇賀委員 私ハ此ノ四案ニ對シテ民政黨ヲ代表シテ贊成ノ意ヲ表シマス、別ニ細力ニ理由ハ申上ゲマセヌガ三番目ノ支那事變行ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、今日マデ承リマシタ所ニ依リマスルト、陸海軍人ヲ主トシテナサルヤウデ、又文官ノ方ニハ及バナイ、尙又民間ノ功勞者ニモ及バナイヤウナ風ニ聞イテ居リマシタガ、成ベク出来得ルナラバ此ノ際サウ云フ方面ヲモ併セテ至急御調査ノ上恩典ニ浴セシメラレルコトヲ希望シテ置キマス

○春名委員 私ハ政友會ヲ代表致シマシテ原案ニ贊成致シマス

○小串委員 私ハ政友會ヲ代表致シマシテ此ノ四案ハ時局ニ對スル最モ必要且ツ重要ナ問題若クハ他ノ案ト關聯ヲ持ツモノデアリマスカラ、總チ原案ヲ適當ナリト認メテ賛成ノ意ヲ表シマス

○小野委員 只今議題トナツテ居リマスル昭和九年法律第四十五號中改正法律案外三件ヘ何レモ今回ノ事變ト直接若クハ間接ノ關係ガアルモノト認メマシテ、私ハ時局同志會ヲ代表致シマシテ全部贊成致シマス

○紫安委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○紫安委員長 起立總立、仍テ議題トナリマシタル四案ハ原案通り可決致シマシタ、是ニテ散會致シマス

午後二時五十二分散會

第六類第一號 昭和十五年度一般會計歲出

田ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

外五件委員會議錄 第二十一回 昭和十五年三月二十日

昭和十五年三月二十三日印刷

昭和十五年三月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局